

業務用電化厨房普及促進団体の活動—中国地区 「中国電化厨房研究会」の活動

清水 直美 (しみず なおみ) 中国電力(株) 販売事業本部 エネルギー営業センター

中国電化厨房研究会は、平成5年8月に前身の「広島県電化厨房研究会」として誕生し、広島県内のホテル・外食産業などの調理師・業務用厨房メーカー・建築設備設計事務所を中心とした会員（約100名）で発足した。

平成10年8月からは、活動エリアを中国5県に拡大し、名称を「中国電化厨房研究会」に変更して現在に至る。今年度で15年目の活動を迎える任意団体である。

1. 団体の目的

本会は、業務用電化厨房の啓蒙と推進および会員相互の交流・親睦をはかることを主たる目的としている。

電化厨房に関わる情報提供・技術の交流を通じて、電化厨房システムや新調理システム（クックテル・真空調理法など）への理解と効果的な活用の促進を行うことで、電化厨房の発展に取り組んでいる。

さらに、食生活の充実と安全性の向上ならびに省エネルギーの促進へ貢献するなど、会員の皆さまの『調理方法・作業環境・コスト削減』のお手伝いをモットーに活動を展開している。

2. 活動の概要

主な活動は、次のとおりである。

- (1) 電化厨房機器・設備に関する啓蒙および情報交換
- (2) 電化厨房機器・設備に関する改良・改善研究
- (3) 電化厨房機器・設備に関する開発研究
- (4) 電化厨房機器・設備に関する研修会・見学会
- (5) その他本会の目的を達成するために必要な活動

厨房に関する衛生管理や作業環境の改善など、さまざまな課題について解決するため、現在は、情報発信・研修会等の活動を中心に取り組んでいる。



業務用電化厨房総合パンフレット掲載内容

3. 会員・組織構成

会員は、本会の目的に賛同する個人、法人ならびに団体に構成され、平成19年10月末現在、約1,000名の会員である。

業種別では、病院・老人福祉施設関係が占める割合が30%と多く、続いて外食・中食、学校給食・給食サービスがそれぞれ10%、ホテル、建築・設備設計事務所、厨房機器メーカー、官公庁がそれぞれ5~6%を占める。

職種別では、調理師、栄養士、ホテル・外食産業・病院などの経営者、設備設計士、教員、営業職などで構成される。

会員総会の承認により、役員（会長・副会長・幹事）